

特集
地域に密着したコミュニティ&コミュニケーション活動



地域社会からの理解、信頼なくして企業はそこで事業を営むことはできません。

私たちは、常に地域と一体となった取り組みを進め、ITを活用した地域活性化等への貢献により、共存共栄の関係をこれからも図っていきます。

約15,000件

「@舎(あつとや)ひとよし」への月平均のアクセス数



URL <http://www.hitoyoshi-hikari.com/>

「地域密着」をキーワードに本業を通じて地域に貢献していく

ここNTT西日本-中九州(当時NTT西日本熊本支店)では、支店ビル周辺の毎朝の清掃活動や地元の祭り・イベント等への積極的な参加を通じ、これまでも様々な形で地域の人々との交流を深めてきた。そうした中で、さらに一歩進めて「自分達らしい地域への貢献とは何か」を模索する中で、やはり従来から地域に根ざして事業を営んできた企業であることを再確認するとともに、NTT西日本の事業の本質であるコミュニケーションを活性化することにより地域貢献を果たすべきとの考えに至った。

これを実現するため、NTT西日本-中九州では事業運営のキーワードとして「地域密着」を掲げている。少しでも多くのお客様、地域の方々の声をお聞きし、その声に迅速・的確にお応えするという一見当たり前とも思えることを着実に実行し、そこからお客様に喜ばれる新たなアイデアを発想することで、結果的にNTTファンの獲得と拡大が必ず実現でき、ビジネスに繋がっていくというのがこの「地域密着」の考えだ。

リアルとバーチャルを融合させた「桜町ITデパート」

地域に密着した具体的な取り組みの一つとして「桜町ITデパート」を活用した情報発信がある。「桜町ITデパート」とは、“地域の情報交差点として、最新情報の発信を行うバーチャルスペースを創造する”をコンセプトに、サイト内のメニューをNTT西日本熊本支店桜町ビルの各フロアに見立てたものだ。1階と2階は「リアルなフロア」として既存のショールームや各種イベントが開催される多目的ホール等を紹介している。そして、3階から8階までの「バーチャルなフロア」は、インターネット上で地域の情報からNTTの商品・サービ

スなど様々な情報を紹介している。単なる商品の陳列だけでなく、実際に体験できたり、様々な情報が得られるなど、そこに行くだけで楽しくなるような仕掛けが盛り込まれているのだ。

また、この桜町ビル自体は一般の方にも開放され、各地域の観光・物産発信展や小学生がブロードバンドを体験するための遠隔授業なども行われている。こうした交流をきっかけに、熊本市の春日小学校区において地域行事の案内やPTAの広報などの情報発信を「e-まち知ろう」というポータルサイトを活用して支援するようになったのを始め、熊本市の健軍商店街そして熊本の地方都市である人吉市へとITを活用した地域への貢献が徐々に広がっていった。

人吉・球磨エリアを活性化するため地域ポータルサイト「@舎ひとよし」を開設

2004年2月、地元の商工会議所の要望等もあり、情報発信による人吉エリアの活性化と情報発信リテラシーの向上を目指した「人吉ひかり研究会」が発足した。人吉エリアには魅力ある歴史や文化、自然などの豊富な観光資源、物産などがあるが、これまで以上に積極的にアピールしていくため、同研究会では、これをいかに情報発信し地域を活性化させるかが話し合われた。

NTT西日本-中九州では、単に情報を発信するためのポータルサイトを作成するだけにとどまらず、地元とのコンセンサスづくりから組織づくりの協力要請、掲載企業・店舗の募集などにも協力し、まさに一体となって取り組んだ結果「@舎ひとよし」というサイトが完成した。実際、サイトへのアクセス数は着実に伸び、多ヶ月では20,000件近いアクセスがあり、ホームページを見て観光や店舗へ訪れる人が増え、地元の方から喜びの声が寄せられているという。

人吉だけでなく水俣での展開も図っており、今後、熊本県内の他のエリアにも拡大するとともに、各ポータルサイトを有機的に連携することで、熊本県全体の情報発信文化の醸成、地域の活性化を行っていく考えだ。



NTT西日本 - 中九州 人吉営業所長 笹原 繁男
「サイトを見て来たというお客様が増えた」という声を聞くと、実際に地元へ貢献できていることが実感でき、何よりも嬉しいです。

